

城上幼稚園だより **すくすく**

「山と川と人とつながるたくましい子ども」

令和7年3月19日（水）発行

TEL 30-2155

「これまでの御協力や御支援、誠にありがとうございました。」

園長 米丸 寛之

桜等の開花や穏やかな日差しに春の訪れを感じられるようになりました。

本園では3月19日（水）に卒園式と修了式を行いました。保護者や地域の皆様からの多くの愛情に支えられながら5人の園児たちは大きく成長し、本園での園生活を無事に終えることができました。大変ありがとうございました。4月から新たなステージでの生活が始まります。園児たちが楽しく、充実した新生活を存分に送ることができますよう、保護者や地域の皆様のこれまでと変わらぬ愛情をどうぞよろしくお願い致します。

さて、園だよりの12月号や様々な機会を通してお伝えしていましたが、本園は「本市幼稚園適正規模等基本方針」に基づき、令和7年3月31日をもって「休園」となります。

① 開園 昭和49年4月1日

（昭和26年託児所を開設→同年、母の会より城上幼児学級開設）

② 休園 令和7年3月31日

③ 卒園生 1918人（令和5年度までの卒園生+令和6年度の5人）

約50年もの間、充実した教育活動が行え、多くの卒園生を送り出すことができたのも、保護者や地域の皆様の多大な御協力・御支援のおかげです。大変お世話になり、誠にありがとうございました。皆さんの心に、いつまでも本園が残ることを祈念します。



「親子20分間読書」運動～本がひらく わたしの未来～

薩摩川内市が、子どもの家庭での居場所づくり・絆づくりを目的に今年度進めてきた「親子20分間読書」運動の本園の取組として、園だよりに「『親子20分間読書』運動～本がひらく わたしの未来～」欄を設け、読書に関する記事を1年間掲載してきました。

5月号…読書は「知識力」「豊かな語彙力や表現力」「想像力」を育てていくことにつながる。

6月号…「センノオト」など様々な場所で雰囲気を変えて読書をするだけでも読書への興味関心がより高まっていく。

7月号…園の先生方が、保護者が子どもへ読み聞かせをする参考にしてほしいとお薦めする絵本の紹介。

9月号…「物語に触れ想像力を養おう」と南日本新聞に掲載された2015年芥川賞受賞者：又吉直樹氏のインタビュー記事を紹介。

10月号…人間の素晴らしい力を発揮するための取組の一つとして読書がある。

11月号…「学びに遅すぎることはない」と懸命に生きている実在の人物を主人公にした映画の原作本を保護者向けに紹介。

12月号…2024年の年間売り上げ本ランキングで上位になり、保護者も子どもも楽しく読める「大ピンチずかん」の紹介。

1月号…親子読書の本以外の活用として南日本新聞のオセモコ欄とその実践例の紹介。

2月号…卒園して小学校へ入学する園児もいることから、小学校の読書活動例として城上小学校の活動を紹介。



という内容でした。いかがだったでしょうか。これからも、子どもが良本に出会い、親子が楽しく語り合い、子どもが家庭での愛情を感じながら心豊かな人間に成長していくための取組の一つとして、親子読書を継続していただければ幸いに思います。

